

働くことのよろこび、集うことの楽しさを一緒に作りましょう!!



就労継続支援B型 夢ねっこ



裂き織をしているメンバー



夢ねっこの作業場の一角がちょっとしたギャラリーになっています。
 夢ねっこのメンバー（利用者さん）と地域のサポーターさんの共同作品です。
 どれをとっても力作で自慢できる商品となりました。
 バッグが出来上がるまでにはいくつかの工程があり、クラフトバンドの採寸・カット・メニュー表を見ながら裂くなどの細やかな作業が続きます。
 裂き織りは古い着物や洋服を解き、一センチ程の幅に裁断し、それを織っていきます。東北地方に伝わる再生布となります。
 着古した着物がまた新たな布として蘇る作業は織る人を夢中させる魅力があります。
 世界に一つしかないステキな作品をぜひご覧ください。

【サンボーンとの出会い（音楽とぼく）】～9月に夢ねっこから巣立った利用者さん(50代男性)の手記～

ぼくは超虚弱児に生まれ、へその緒が切れたとき呼吸せず仮死状態からのギリギリの生還だったそうです。

生後七ヶ月頃、重度の小児ぜん息に。体を鍛えるため水泳・柔道・乾布摩擦に冷水摩擦。やれ気合いだ根性だ。イヤですよ。養護学校への転入の話もあったけど、友だちと別れたくないので拒否。

音楽大好き、中学校で吹奏楽部に入部。トランペットにハマりました。のめり込み、メキメキ体は強くなっていきました。勉強なんかそっちのけ。

高校生のある日、偶然ラジオでサックスの音が。とてもゴキゲンでハッピーそれでいて泣き節、目の覚めるテクニック。デイビッド・サンボーンです。当時、レンタルレコード屋さんが流行っていたのでいっぱい借りまくりました。彼は小児麻痺で四肢と呼吸器のマヒに苦しみ、リハビリのために医師のすすめで音楽の世界に。そして世界一のサックスプレイヤーへ。

サンボーンがいつぱんに好きになりました。生きざまから音楽まで。彼を励みにぼくもせいぜい音楽教師にくらいは。。

彼との会話もサインもいい思い出。ブルーノート福岡で最前列テーブルに演奏中座ってきました。オルガンのリッキー・ピーターソンも。タバコを一服するとリッキーはオルガンに戻りました。

挨拶は、"I have all your CDs, sir. I'm big fun since 1980."とても緊張しました。彼は"Glad to see you. Later, see you again!!"と。とても忘れられない瞬間です。彼の握手はとても力強かった。Dreams come true now \ (^o^) / また夢で会いましょう。See you!! Mr. David Sanborn



10月の作業内容

- *エコクラフト バッグ作り
- *きゅうりの漬物
- *弁当づくり補助・配達
- *裂き織り など

10/23(土)10:00~17:00に
 県立美術館周辺にて開催する
 『笑顔deさいこうマルシェ』で
 製品を展示販売します。
 ～お待ちしております～

夢ねっこホームページ
 皆さまのアクセスお待ちしております。
 ホームページアドレス
 Yumenekko.roukyou.gr.jp

QRコード



夢ねっこ利用者さん募集!!

- *一般就労の難しい人
 - *じっくり生活リズムをつくり、次のステップを目指す人
 - *障がいがあっても、自分らしい生き方を願う人
- まずは、ご見学・体験・ご相談お待ちしております。